

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公開番号】特開2006-81644(P2006-81644A)
 【公開日】平成18年3月30日(2006.3.30)
 【年通号数】公開・登録公報2006-013
 【出願番号】特願2004-267964(P2004-267964)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 8

【手続補正書】
 【提出日】平成19年5月30日(2007.5.30)
 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項1】

複数の識別情報を変動表示可能な表示部を備える変動表示装置と、
 遊技盤の遊技領域に取り付けられ、前記変動表示装置の表示部を前方に向けて臨ませ得る開口部を有するセンターケースと、
 前記遊技領域におけるセンターケースの下方に設けられ、遊技球の入賞が前記変動表示装置の変動表示を始動するための条件となる始動入賞口を有する始動入賞装置と、
 を備え、
 前記変動表示装置における変動表示の停止結果態様が予め定めた特別態様となることに基づいて、遊技者に有利な遊技展開を期せる特別遊技状態を発生する遊技機において、
 前記センターケースは、
 標準位置である第1状態と、該第1状態から所定角度回転した第2状態へ変換可能な回転部材と、
 前記回転部材と一体的に回転し、回転中心側に位置して遊技盤の前面よりも前方に突出する球受け面と、該球受け面の反対側に位置して遊技盤の前面よりも前方に突出する球弾き面とを有する鍔部材と、
 を備え、
 前記鍔部材は、前記回転部材が第1状態にある球受け不可状態においては、前記表示部の上方側に位置して、球弾き面が上面で球受け面が下面となることで、遊技領域を流下する遊技球を球弾き面で側方へ弾いて遊技領域を更に流下させ、前記回転部材が第2状態にある球受け可能状態においては、前記表示部の下方側に位置して、球受け面が上面で球弾き面が下面となることで、遊技領域を流下する遊技球を球受け面で受けて球導入部へ誘導可能とし、
 前記球導入部は、前記鍔部材が球受け可能状態にあるときに、センターケースに設けた入賞口と連通するようにしたことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0007
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0007】

上記の課題を解決するために、請求項 1 に係る発明は、複数の識別情報を変動表示可能な表示部を備える変動表示装置と、遊技盤の遊技領域に取り付けられ、前記変動表示装置の表示部を前方に向けて臨ませ得る開口部を有するセンターケースと、前記遊技領域におけるセンターケースの下方に設けられ、遊技球の入賞が前記変動表示装置の変動表示を始動するための条件となる始動入賞口を有する始動入賞装置と、を備え、前記変動表示装置における変動表示の停止結果態様が予め定めた特別態様となることに基づいて、遊技者に有利な遊技展開を期せる特別遊技状態を発生する遊技機において、前記センターケースは、標準位置である第 1 状態と、該第 1 状態から所定角度回転した第 2 状態へ変換可能な回転部材と、前記回転部材と一体的に回転し、回転中心側に位置して遊技盤の前面よりも前方に突出する球受け面と、該球受け面の反対側に位置して遊技盤の前面よりも前方に突出する球弾き面とを有する鍔部材と、を備え、前記鍔部材は、前記回転部材が第 1 状態にある球受け不可能状態においては、前記表示部の上方側に位置して、球弾き面が上面で球受け面が下面となることで、遊技領域を流下する遊技球を球弾き面で側方へ弾いて遊技領域を更に流下させ、前記回転部材が第 2 状態にある球受け可能状態においては、前記表示部の下方側に位置して、球受け面が上面で球弾き面が下面となることで、遊技領域を流下する遊技球を球受け面で受けて球導入部へ誘導可能とし、前記球導入部は、前記鍔部材が球受け可能状態にあるときに、センターケースに設けた入賞口と連通するようにしたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項 1 に係る遊技機によれば、遊技盤の遊技領域に設けたセンターケースの回転部材が第 1 状態のときには、鍔部材が表示部の上方側に位置する球受け不可能状態にあることで、遊技領域を流下して球弾き面に当たった遊技球は側方へ弾かれて遊技領域を更に流下し、回転部材が第 2 状態のときには、鍔部材が表示部の下方側に位置する球受け可能状態にあることで、遊技領域を流下して球受け面に受け止められた遊技球は球導入部へ誘導されて入賞口へ入賞することとなる。すなわち、センターケースの入賞口への球入賞が不可能な状態から入賞口への球入賞が容易な状態への変換が、センターケースの鍔部材の回転動作に伴う表示部との相対的位置関係の変化として遊技者に視認されるので、視覚的なインパクトが強く、遊技者の興趣を効果的に高めることができる。